

令和5年度「現代の国語」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	普通科・理数科・美術科	国語	現代の国語	2	必修
教科書	高等学校 精選現代の国語（第一学習社）				
副教材	新版五訂 新訂総合国語便覧（第一学習社）				

学習の目標	知識・技能（I）	思考・判断・表現（C）	学びに向かう力、人間性（E）
	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価	知識・技能（I）	思考・判断・表現（C）	主体的に学習に取り組む態度（E）
評価の割合	6	2	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・定期考査・確認テスト等の結果		テストのやり直し等の提出状況
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	言葉による見方・考え方を働かせ、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるよう、常に心がけ、主体的に学習に取り組む態度を身につけること。
------------------	--

※備考 二高ICEモデルとは？	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考査	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	「生きもの」として生きる（中村桂子） 「水の東西」（山崎正和）	○東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。		世界各国の水を用いた芸術や仕掛けを調べる。
	5	「水の東西」（山崎正和）	○東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。	中間考査	世界各国の水を用いた芸術や仕掛けを調べる。
	6	「ものごとば」（鈴木孝夫）	○具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理個性を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。	期末考査	○本文で例示されている「机」の定義を参考にして、「棚」「机」「床」など身の回りのものを取り上げ、定義して文章にまとめる。
	7	「ものごとば」（鈴木孝夫）	○主張と根拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ○事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ。		○文章に含まれている情報を関連付けながら、論理を分析する。
第2学期	9	「文化としての科学」（池内了）	○筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。	課題考査	筆者の問題提起と問題解決の主張を参考に「科学と技術と私たちの関係」について文章をまとめる。
	10	「文化としての科学」（池内了）	○筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。	中間考査	筆者の問題提起と問題解決の主張を参考に「科学と技術と私たちの関係」について文章をまとめる。
	11	「現代の『世論操作』」（林香里）	○情報操作の具体例を通して筆者が提起する加地を理解し、メディア社会に生きる者としての問題意識を持つ。	期末考査	メディア社会に生きる人間としてどのような課題があるか、各自の考えを文章にまとめる。
	12	「現代の『世論操作』」（林香里）	○情報操作の具体例を通して筆者が提起する加地を理解し、メディア社会に生きる者としての問題意識を持つ。		メディア社会に生きる人間としてどのような課題があるか、各自の考えを文章にまとめる。
第3学期	1	「不均等な時間」（内山節）	○具体的事例から一般論への展開と、対比構造を手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。	実力考査	本文末尾の筆者の提案を受け、「自然と私たちの生活」をテーマに、意見を述べる。
	2	「不均等な時間」（内山節）	○具体的事例から一般論への展開と、対比構造を手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。	学年末考査	各自の意見を参考に、今後の社会に求められることを調べ、各自でまとめる。
	3	「デザインの本意」（原研哉）	○文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。		各自の意見を参考に、今後の社会に求められることを調べ、各自でまとめる。

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「言語文化」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	普通科・理数科・美術科	国語	言語文化	2	必修
教科書	高等学校 精選言語文化（第一学習社）				
副教材	新訂 総合国語便覧（第一学習社）改訂三版 完全マスター古典文法（第一学習社） 必携 新明説漢文（尚文出版）				

学習の目標	知識・技能（I）	思考・判断・表現（C）	学びに向かう力、人間性（E）
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることが出来るようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

評価	知識・技能（I）	思考・判断・表現（C）	主体的に学習に取り組む態度（E）
評価の割合	6	2	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・定期考査・確認テスト等の結果		考査のやり直し等の提出状況とその取り組み状況
			提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	言葉による見方・考え方を働かせ、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるよう、常に心がけ、主体的に学習に取り組む態度を身につけること。
------------------	--

※備考 二高ICEモデルとは？	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考查	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	【古文入門】 「児のそら寝」（宇治拾遺物語）	○歴史的仮名づかい ○古文の仮名 ○小言現代語 ○古語辞典の引き方 ○古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。		話の面白さが分かるように文章にまとめる。
	5	【古文入門】 「絵仏師良秀」（宇治拾遺物語）	【古文入門】 ○品詞 ○活用と活用形 ○係り結びの法則	中間 考查	最後の一文の有無で話の印象がどう変わってくるか、考える。
	6	【漢文入門】 漢文に親しむ 「漁夫之利」「狐借虎威」	【漢文入門】 ○返り点の種類と用法 ○助字を置き字 ○再読文字 ○句法「否定禁止」「使役」「反語」	期末 考查	故事成語の由来を調べる。
	7	【歌物語】「芥川」『伊勢物語』	○助動詞の種類と用法 ○話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。		教科書挿絵は、後代の解釈に基づいて書かれたものである。本文と比較する。
第2学期	9	【史伝】 「完璧」（十八史略） 【随筆】「丹波に出雲といふところあり」（徒然草）	○作中に描かれた考えや人物像を読み取る。 ○句法「使役」「願望」「受身」 ○敬語 ○用言、助動詞、助詞の復習 ○作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。	課題 考查	藺相如の言動からうかがえる人物像を考える。
	10	【小説】 「羅生門」（芥川龍之介） 【日記】 「門出」「帰京」（土佐日記）	【小説】○比喩表現や慣用句などの表現技法に留意しながら、文章構成と展開を読み取る。○下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論地が下人に与えた影響を読み取る。 【日記】○記録としての日記とは異なる表現方法を読み解く。	中間 考查	老婆の弁明をどう受け取るか考える。
	11	【史伝】 「臥薪嘗胆」（十八史略）	○やや長めの史伝を読んで、登場人物を押さえ、主要な人物の考えや主張を読み取る。	期末 考查	
	12	【漢詩】 「江南春」（杜牧）「春望」（杜甫） 「読家書」（菅原道真）	○漢詩のきまり ○表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。		それぞれの詩に表現された詩人の心情や描かれた風景を比較する。
第3学期	1	【物語】 「なよ竹のかぐや姫」（竹取物語）	○敬語の種類と用法 ○古典特有の世界観になれるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。	実力 考查	語り物の特色が表れていると思う描写や表現を指摘し、なぜそう思ったのかをまとめる。
	2	【軍記物語】 「祇園精舎」（平家物語） 【文章】 「桃花源記」（陶潜）	○敬語の種類と用法 ○合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。	学年 末考 査	「桃花源記」の根本には中国の老荘思想の考え方がある。『老子』の「小国寡民」の思想について調べ、本文との類似点を発表する。
	3	【文章】 「桃花源記」（陶潜）	○漢文の散文作品に触れて読みに慣れるとともに、桃源郷の由来ともなった理想郷のあり方を理解する。 ○句法「限定」「全部否定と部分否定」		「桃花源記」の根本には中国の老荘思想の考え方がある。『老子』の「小国寡民」の思想について調べ、本文との類似点を発表する。

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「古典探究」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2年	普通科・理数科・美術科	国語	論理国語	2	必修
教科書	古典探究（数研出版）				
副教材	<small>読んで見て覚える 重要古文単語315 三訂版 新修古典文法二訂版 新明説漢 錬成古典大学入試共通テスト対策新装版 古典読解問題 基礎編 新版 七訂 新訂 総合国語便覧</small>				

学習の目標	知識・技能（I）	思考・判断・表現（C）	学びに向かう力、人間性（E）
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価	知識・技能（I）	思考・判断・表現（C）	主体的に学習に取り組む態度（E）
評価の割合	6	2	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・定期考査・確認テスト等の結果		テストのやり直しの取り組み状況
			週末課題等の提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	○言葉による見方・考え方を働かせ、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるよう、常に心がけ、主体的に学習に取り組む態度を身につけること。 ○授業用プリントなど補助教材も有効に活用し、主体的・協働的態度で授業に臨むこと。
------------------	---

※備考 二高ICEモデルとは？	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考查	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	古文『十訓抄』「大江山」	人物の関係や主語を的確にとらえて、本文から読み取れる教訓を考える。		大江山はどのような教訓を示すために収録されていると考えられるか。話し合ってみよう。
	5	漢文 故事成語「買履忘度」、「画竜点睛」	漢文に親しみ、登場人物の考え方や話の面白さを味わう。	中間考査	人物の描き方について、本文から分かることを話し合おう。
	6	古文『方丈記』「ゆく河の流れ」 漢文「鴻門之会」剣舞	登場人物の心情や行動を本文に即して読み取る。話の展開を読み取るとともに、古代中国の史伝の面白さや登場人物の魅力を味わう。	期末考査	「無常」に対する作者の考えを説明してみよう。 項羽が范増の指示に従わなかった理由を考えてみよう。
	7	古文『大鏡』「三船の才」「南院の競射」	歴史物語の最高傑作と言われる作品に触れ、当時の道長に対する見方を知る。		「小倉山」の和歌はどのような点が評価されたのか、考えてみよう。
第2学期	9	古文『平家物語』「忠度の都落ち」	和漢混合体で描かれた軍記物のリズムを味わい、平家一門の栄華と没落を描いた無常観を味わう。	中間考査	忠度が俊成のもとを訪れた際の、俊成とその家人との反応の違いについて説明してみよう。
	10	漢文 「四面楚歌」	話の展開を読み取るとともに、古代中国の史伝の面白さや登場人物の魅力を味わう。		項羽は敗戦の原因をどのように考えているか。詩の1句目と2句目の表現を踏まえて考えてみよう。
	11	古文 更級日記『東路の道の果て』	作者の体験や心情を読み取り女流日記文学を読み味わう。	期末考査	「人知れずうち泣かれぬ」という作者の気持ちを説明してみよう。
	12	漢文 「売油翁」	漢文に親しみ、登場人物の考え方や話の面白さを味わう。		陳康肅公が「但手熟爾」といわれて怒った理由を考えてみよう。
第3学期	1	古文 『源氏物語』「光源氏誕生」 「小柴垣のもと」	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、古典文学に対する興味関心を高める。	実力考査	帝が「桐壺の更衣」を寵愛することに対し、まわりの人々はどう思ったか、説明してみよう。
	2	漢文 『論語』「道德齊礼」 『老子』「無為之治」 『莊子』「夢為胡蝶」	諸子百家の思想に学び、人間の在り方について考える。	学年末考査	儒家と道家では、それぞれ人間が生きていくうえでどのようなことに重きを置いているのか、考えてみよう。
	3	1年間の総復習	1年間の学習を振り返り、自己の学習について見つめることで主体的な態度を身に付ける。		1年間の学習を振り返り、ポートフォリオを作成し自己の成長につなげよう。

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「文学国語」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2年	普通科	国語	文学国語	2	必修
教科書	精選論理国語（東京書籍）				
副教材	三訂版 入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500 評論・小説を読むための新現代文単語 改訂版よむナビ現代文2.5修練編 現代文読解問題 基礎編〈第2版〉 新版 七訂 新訂 総合国語便覧				

学習の目標	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	6	2	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・定期考査・確認テスト等の結果		テストのやり直しの取り組み状況
			週末課題等の提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	<p>○言葉による見方・考え方を働かせ、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるよう、常に心がけ、主体的に学習に取り組む態度を身につける。</p> <p>○授業用プリントなど補助教材も有効に活用し、主体的・協働的態度で授業に臨むこと。</p>
------------------	--

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
二高ICEモデルとは？	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考査	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	雨月物語（木内昇）	筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。		
	5	あの朝（角田光代）	場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の心情の変化を読み取る。	中間考査	主人公と比較して、自分の「なくすことで好きになったあれこれ」について話し合おう。
	6	山椒魚（井伏鱒二）	登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。		この小説にはどのような寓意が感じられるか、自分自身の生き方や考え方に触れながら、600字程度の文章にまとめよう。
	7	山椒魚（井伏鱒二）		期末考査	
第2学期	9	山月記（中島敦）	登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。	課題考査	主人公の生き方についてどのように考えるか、話し合おう。
	10	山月記（中島敦）		中間考査	
	11	詩歌	詩歌の表現の特色を理解して味わう。		詩を創作しよう。
	12	詩歌		期末考査	
第3学期	1	文学の未来（小野正嗣）	本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。	実力考査	教科書に掲載されている作品から一つ選んで、論述しよう。
	2	文学の未来（小野正嗣）		学年 末考査	
	3	鞆（安部公房）	寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。		この小説をまだ読んでいない人に紹介するという設定で、ポップや本の帯、図書館だよりなどに載せる内容紹介文を書こう。

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「論理国語」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2年	普通科・理数科・美術科	国語	論理国語	2	必修
教科書	精選論理国語（東京書籍）				
副教材	三訂版 入試頻出漢字+現代文重要語彙TOP2500 評論・小説を読むための新現代文単語 改訂版よむナビ現代文2.5修練編 現代文読解問題 基礎編〈第2版〉 新版 七訂 新訂 総合国語便覧				

学習の目標	知識・技能（I）	思考・判断・表現（C）	学びに向かう力、人間性（E）
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価	知識・技能（I）	思考・判断・表現（C）	主体的に学習に取り組む態度（E）
評価の割合	6	2	2
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・定期考査・確認テスト等の結果		テストのやり直しの取り組み状況
			週末課題等の提出物の提出状況とその取組状況
	レポートの提出状況と取組状況		

履修上の注意及び学習のアドバイス	○言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しむ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 ○授業用プリントなど補助教材も有効に活用し、主体的・協働的態度で授業に臨むこと。
------------------	---

※備考	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
二高ICEモデルとは？	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめごとの目標	定期 考査	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	ミロのヴィーナス（清岡卓行） ◇論理の力「つなげる力」	具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。		「譲歩」を用いて論じている部分を指摘しよう。
	5	ミロのヴィーナス（清岡卓行） 科学的「発見」とは（小川真理子） ◇論理の力「要約する力」	本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	中間考査	この文章の中心的な「問い」と「主張」は何か、まとめよう。
	6	科学的「発見」とは（小川真理子） 分人とは何か（平野啓一郎） ◇論理の力「つなげる力」	提示された問いに注意して筆者の主張を理解し、自分に引き寄せて考える。	期末考査	具体例を挙げて説明している部分を指摘しよう。
	7	分人とは何か（平野啓一郎）			
第2学期	9	「リスク」と「リスク社会」（神里達博） ◇論理の力「要約する力」	対比に注意して論の展開をつかみ、「リスク」という概念について理解を深める。	課題考査	本文で述べられているベックとルーマンの主張をそれぞれ100字程度で要約しよう。
	10	「リスク」と「リスク社会」（神里達博） 消費されるスポーツ（多木浩二）	筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。	中間考査	本文について、「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考えよう。
	11	消費されるスポーツ（多木浩二） ◇論理の力「質問する力」			
	12	日本人の美意識（高階秀爾）	図を適切に参照して本文中の対比を捉え、日本と西欧の美意識の違いを理解する。	期末考査	本文の内容を100字程度で要約しよう。
第3学期	1	日本人の美意識（高階秀爾） ◇論理の力「要約する力」		実力考査	
	2	地図の想像力（若林幹夫）	提示されている地図に注目して、論の展開を押さえ、地図に対する筆者の考えを読み取る。	学年末考査	筆者は地図についてどのような考え方に反対しているかまとめよう。また、その考え方を端的に表現している言葉を指摘しよう。
	3	地図の想像力（若林幹夫） ◇論理の力「要約する力」			

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「現代文B」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3	普通科・理数科・美術科	国語	現代文B	文：3、理/美：2	必修
教科書	東京書籍「精選現代文B」				
副教材	東京書籍「新総合図説国語」いっずな書店「新現代文単語」				

学習の目標	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	学びに向かう力、人間性 (E)
	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるために、語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。	初見の文章に取り組むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、自分の考えを深めたり発展させたりする。	授業や考査を通して、自己の問題点を認識し、積極的に課題に取り組む。

評価	知識・技能 (I)	思考・判断・表現 (C)	主体的に学習に取り組む態度 (E)
評価の割合	(I) / (C)		(E)
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況

履修上の注意及び学習のアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 言葉による見方・考え方を働かせ、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるよう、常に心がけ、主体的に学習に取り組む態度を身につけること。 授業用プリントなど補助教材も有効に活用し、主体的・協働的態度で授業に臨むこと。
------------------	---

※備考 二高ICEモデルとは？	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考査	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	評論「言語と記号」 丸山圭三郎	抽象的な事柄を論じた評論を読み、自分の考えを深める。	1学期 中間	筆者は、「言語記号」を「平素は他の一般記号と同じように振る舞い、その仮面の下に本性を隠している不可思議な記号である」と述べているが、それは「言語記号」のどのような特質を言っているか。
	5	評論「鏡の中の現代社会」 見田宗介	時代を論じた評論を読み、現代の社会における自分の生き方について考える。	1学期 期末	「異国」と「近代」の時間感覚の違い、インディオと現代社会の感覚の違いは何か。また人間が獲得、また喪失したものは何か。
	6	小説「檸檬」梶井基次郎	小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解する。	1学期 期末	「第二のアイディア」とは、どのようなことか。また、私はなぜそれを実行したのか。
	7	評論「社会の壊れる時」鷲田清一	叙述の仕方に注意して、論の展開の特徴をつかみ、筆者の考えを理解する。	2学期 中間	「知性的ということ」の意味について、筆者の主張をまとめよう。
第2学期	9	小説「舞姫」森鷗外	文語文で書かれた小説を読み、そこに描かれた内容を理解して味わう。	2学期 中間	エリスはどのような女性であるかを考えながら、豊太郎と彼女との愛について考えよう。
		近代以降の様々な文章を読む能力を高めるために、語句の意味、用	初見の文章に取り組むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し、自分の考えを深めたり発展させたりする。	学年末	授業や考査を通して、自己の問題点を認識し、積極的に課題に取り組む。
	11	マーク型問題演習	本文および選択肢を早く正確に読み取る力を向上させる。		
	12	マーク型問題演習	本文および選択肢を早く正確に読み取る力を向上させる。		
1	記述型問題演習	記述型問題演習 思考力・判断力・表現力を駆使し、読解力および答案作成能力を向上させる。			
第3学期	2	記述型問題演習	記述型問題演習 思考力・判断力・表現力を駆使し、読解力および答案作成能力を向上させる。		
	3	記述型問題演習	記述型問題演習 思考力・判断力・表現力を駆使し、読解力および答案作成能力を向上させる。		

※行事等で変更になる場合があります。

令和5年度「古典B」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
3	普通科・理数科・美術科	国語	古典B	普：3、理/美：2	必修
教科書	高等学校 改訂版 古典B 古文 漢文（第一学習社）				
副教材	新総合国語便覧（東京書籍） 完全マスター古典文法（第一学習社）				

学習の目標	知識・技能（I）	思考・判断・表現（C）	学びに向かう力、人間性（E）
	古典としての古文と漢文を読む能力を養うために、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法および文の構造を理解する。	ものの見方、考え方を広くするために、初見の問題に取り組むことで、文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえ、文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。	授業や考査を通して、自己の問題点を認識し、積極的に課題に取り組む。

評価	知識・技能（I）	思考・判断・表現（C）	主体的に学習に取り組む態度（E）
評価の割合	(割合は表に示されず)		
主な評価方法	課題考査・校内実力考査・確認テスト等の結果		
			提出物の提出状況とその取組状況

履修上の注意及び学習のアドバイス	言葉による見方・考え方を働かせ、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるよう、常に心がけ、主体的に学習に取り組む態度を身につけること。授業用プリントなど補助教材も有効に活用し、主体的・協働的態度で授業に臨むこと。
------------------	---

※備考 二高ICEモデルとは？	⇒探究活動・探究型授業における学習や、生徒の思考力を多面的に評価するために開発されたもの		
	Iフェーズ： 学んだ知識や技能をつかうことができる	Cフェーズ： 学んだ知識や技能を応用できる	Eフェーズ： 自分自身で学びを調整しようとする

令和5年度 年間指導計画

学期	月	単元等	学習のまとめりごとの目標	定期 考查	単元の本質を表現する問い 生徒の「なぜ」を引き出す問い
第1学期	4	(漢文) 孟子「何必曰利」 莊子「曳尾於塗中」	○孟子 儒家の思想系統について、概要を理解し、それぞれの論旨をつかむ。簡略な表現、論理的な表現、比喩的な表現の妙味を味わう。 ○莊子 道家の思想の系統について、概要を理解する。比喩の巧みさ・説得の巧みさを味わい、主張や論理を的確に捉える。	1学期 中間	・孟子の主張を対句に注意して整理してみよう。 ・人の性を善とする考えかと「王道」政治とはどのように関係するか、考えてみよう。 ・莊子の主張で、世間の常識に反するところはどこか、またどのような生き方をよしとするのか、考えてみよう。
	5	(古文) うつろひたる菊 【蜻蛉日記】	○蜻蛉日記 当時の結婚制度や夫婦・家族の在り方について理解する。	1学期 期末	・兼家に対する作者の感情がよく表れている部分を指摘してみよう。
	6	(漢文) 侵官之害	○韓非子 法家の思想の系統について、概要を理解する。中国の主要な思想である法家の主張の概要を理解し、古代中国の思想から現代に通ずるものの方・考え方を知る。	1学期 期末	・韓非はどのような政治のあり方をよしとするのか、考えてみよう。
	7	(古文) 夢よりもはかなき世の中 【和泉式部日記】	○和泉式部日記 筆者と敦道親王の、和歌の贈答を通じた心情の変化を読み味わう。	2学期 中間 考查	・「あはれとながむる」という表現で記された、このときの心情を、想像して説明してみよう。
第2学期	9	(漢文) 孫臏【史記】	○史記 話の展開を読み取るとともに、古代中国の史伝の面白さや登場人物の魅力を味わう。	2学期 中間 考查	・孫臏と龐涓の人間関係はどのようなものであったか、考えてみよう。
	10	(古文) 須磨の秋【源氏物語】 (漢文) 孫臏【史記】 (古文) 紫の上の死【源氏物語】	○源氏物語 登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに『源氏物語』への理解を深め、古典文学に対する興味関心を高める。	中間 考查	授業や考查を通して、自己の問題点を認識し、積極的に課題に取り組む。
	11	(漢文) 孫臏【史記】 (古文) 紫	○史記 話の展開を読み取るとともに、古代中国の史伝の面白さや登場人物の魅力を味わう。	学年末 考查	・孫臏と龐涓の人間関係はどのようなものであったか、考えてみよう。
	12	○マーク型問題演習	○マーク型問題演習 古典文法や漢文句法、語彙力を総動員し、本文および選択肢を早く正確に読み取る力を向上させる。		
第3学期	1	○記述型問題演習	○記述型問題演習 思考力・判断力・表現力を駆使し、読解力および答案作成能力を向上させる。		
	2	○記述型問題演習	○記述型問題演習 思考力・判断力・表現力を駆使し、読解力および答案作成能力を向上させる。		
	3				

※行事等で変更になる場合があります。